

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(愛媛県立弓削高等学校)

学校番号 (18)

評 価 実 施 日		令和 8 年 2 月 18 日 (水)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	白石 建彦	上島町立弓削中学校長	
	亀山 秀麿	上島町立弓削小学校長	
	村上 律子	株式会社しまの会社代表取締役	学校評議員
	川野 麗子	上島町民生児童委員協議会会長	学校評議員
	田房 友典	国立弓削商船高等専門学校教授	学校評議員
	山本 勝幸	上島町教育委員会学校教育課長	学校評議員
	小川 俊治	上島町商工会 会長	学校評議員
	池本 拓也	保護者代表、P T A会長	
	中村佳名子	保護者代表、P T A副会長	
	田名後未来	保護者代表、P T A副会長	
	原山 美咲	保護者代表、P T A副会長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 - 家庭における学習時間については、十分に確保されていると言い難い。アンケート結果を見ると、生徒・保護者の回答と教職員の回答との間に乖離が認められる。 (2) 教育相談 - 先生は「生徒は教職員に気軽に相談することができている」と考えているようだが、アンケート結果を見ると必ずしもそうではない。 - 生徒のメンタルをケアするには、組織的な対応が必要だ。	現在の課題の出し方を見直すとともに工夫を重ね、適切な家庭学習時間の確保を図る。あわせて、公営塾とも連携しながら基礎・基本の徹底に努め、学習習慣の確立と、高い目標に挑戦できる学力の育成を推進していく。 相談した内容が十分な解決にまで至っていない場合などで、生徒と教職員との間に認識のずれが生じていると考えられるが、面談の回数や教職員からの声掛けを増やすことで、生徒がより相談しやすい雰囲気醸成していく。 本校では、対応が必要な事案が発生した際には、速やかに校長を中心としたケース会議を開催し、共通認識のもとで組織的に対応している。今後も引き続き、適切かつ丁寧な対応に努めていく。

2 学校運営への提言 (1) 生徒募集については、ホームページだけでなく様々な媒体を用いてより多くの角度（視点）から発信すると、弓削高校の認知度を高めるのに効果があると考ええる。 (2) 地域行事へ参加する生徒が増えてほしい。 3 その他 (1) アンケートの設問内容が細かいため、子どもと保護者とのコミュニケーションが十分でない家庭においては、回答が難しい場合もあるのではないだろうか。 (2) アンケート項目の精選が必要ではないか。	ホームページの更なる充実を図るとともに、SNS等も積極的に活用しながら、本校の魅力をより多くの方々に届けられるよう、効果的かつ継続的な情報発信に努める。 上島町教育委員会や上島町社会福祉協議会などからいただいた地域行事の開催に関する情報については、積極的に周知していく。 アンケート項目については、経年変化を追うことで教育活動の成果を定量的・定性的に把握している。そのため大幅な変更については慎重に行う必要があるが、現状に応じて適切に見直しを進めていく。あわせて、保護者に学校の様子を御理解いただけるような情報発信の在り方について検討するとともに、生徒と保護者とのコミュニケーションを促進する仕掛けづくりについても検討していく。
--	---